

# 令和4年度 社会福祉法人小牧福祉会 事業実績報告

## I. 小牧福祉会（本部）の事業報告

### 1. 評議員会

令和4年 6月22日 令和3年度事業実績・収支決算、社会福祉充実計画の策定  
令和4年12月 9日 社会福祉法人小牧福祉会定款の一部改正（書面表決12月9日）

### 2. 理事会

令和4年 6月 6日 令和3年度の事業実績・収支決算、社会福祉充実計画の策定、新設グループホーム用地及び生産活動用農地の購入契約、新設グループホームの設計監理業者の選定（見直し）、新町ホームきぼうスプリンクラー設置工事業者の選定、令和4年度収支補正予算、定時評議員会の招集

令和4年 8月17日 新設グループホームの整備に係る設計監理業者の決定、新町ホームきぼうスプリンクラー設置工事に係る業者の決定及び契約、本庄授産所車両整備に係る業者の選定、令和4年度収支補正予算、新町ホームきぼうの事業指定更新

令和4年 9月 7日 新町ホームきぼうスプリンクラー設置工事に係る業者の決定及び契約（再審議）、本庄授産所車両整備に係る業者の決定及び契約、いわさき授産所作業室給湯設備改修工事に係る業者の選定  
(書面表決9月7日)

令和4年11月24日 社会福祉法人小牧福祉会定款の一部改正、評議員会（書面表決）の招集

令和5年 3月22日 社会福祉法人小牧福祉会職員給与規程の一部改正、各事業所の運営規程の一部改正、令和5年度役員等賠償責任保険の契約、令和4年度収支補正予算、令和5年度事業計画、令和5年度収支予算

### 3. 監事監査

令和4年 5月24日 令和3年度事業実績・収支決算  
指摘事項

本庄授産所：利用率の減少について  
改善案として、定員の変更や職員異動、パート雇用の終了等を示された。

新町ホームきぼう：稼働率が低いことについて  
改善案として、新設グループホームは365日の営業や空床型として、土日の空き部屋を利用する等を示された。

その他：新設グループホームについて  
設計監理業者の選定（見直し）、建設の借入金は家賃に含む新町ホームきぼうとして建設  
(法人本部ではない)

### 4. 社会福祉法人指導監査（小牧市）

令和5年 1月26日 法人  
指導内容 グループホームの継続的な運営の担保  
(地上権・賃借権の設定)  
共通経費の配分基準（本部・日中一時支援）

5. 指定障害福祉サービス事業者等実地指導（愛知県）

実施なし

6. 会議・委員会

将来検討委員会（年3回）

令和4年 8月 2日 グループホーム開設（新築ホームの図面等の審議、進捗状況）  
食材費高騰、法人のコロナ対策

令和4年 9月 3日 新設グループホームの整備に係る設計監理業者の選定

令和5年 2月17日 食材費の利用者負担額の増額、グループホーム家賃額の値上げ、  
計画相談契約者数

安全衛生委員会（年12回） 事業所における安全面や衛生面に関して、事故報告やヒヤリ  
ハット報告の評価・分析

苦情解決・虐待防止第三者委員会（年1回）

令和5年 2月14日 令和3年度の報告

経営会議（年12回）

運営会議（年12回）

苦情解決・虐待防止委員会（年12回）

身体拘束適正化委員会（年12回）

将来計画合同検討会（年8回）第2期小牧福祉会中期経営計画に基づいた検討

（グループホーム開設、危機管理、送迎、職員研修）

7. 研修

令和4年 6月16日 基本から学ぶ「意思決定支援」研修（全3回）

8月19日

10月13日

伊藤 茂 施設長

令和4年 9月 9日 安全運転管理講習会（オンライン）

林 広宣 副施設長

黒田 淳也 副施設長

令和4年 9月16日 愛知県相談支援体制整備OJT事業

黒田 恵実 相談員

令和5年 1月23日 地域における公益的な取組

伊藤 茂 施設長

令和5年 3月23日 BCP策定講習会（オンライン）

澁谷 和宏 副主任

8. 広報紙

「なかまの“わ”」発行部数730部

（年3回 利用者、法人関係、施設関係、近隣自治会等へ配布および回覧）

9. 中期経営計画の実施（主な内容）

福祉サービスの充実：グループホームの施設整備において、新設グループホーム用地および生産活動用農地の購入

情報開示・情報提供の充実：広報紙やホームページ等以外のPR方法としてSNS（フェイスブック）の運用開始

10. その他

令和4年12月

愛知県社会福祉大会

愛知県社会福祉協議会会長 表彰

受章者1名

感謝

受章者3名

令和4年11月

小牧市社会福祉大会

小牧市長

表彰

受章者1名

感謝

受章者2名

小牧市社会福祉協議会会長

表彰

受章者2名

令和4年度も、前年度（令和3年度）に引き続き新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら、行事の縮小や活動内容を制限して取り組みをしました。また、社会情勢から、施設外での販売機会は縮小されるも企業からの作業は比較的安定していました。感染者が発生して施設利用を停止し、様々な影響を受けつつも当法人が利用者の生活上必要なサービスであることから感染防止対策を続けて支援に努めました。